

西暦 2020 年 3 月 29 日

研究公開用文書

研究名： 日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模多施設前向き観察研究
研究の概要： 多発性骨髄腫の治療成績はプロテアソーム阻害薬や免疫調節薬等新規薬剤の登場により国内外とも改善しています。本研究は我が国における形質細胞腫瘍患者の日常診療における治療実態や治療成績の把握、さらなる治療成績の改善を目的とする前向きコホート研究です。日本血液学会の骨髄腫研究実行員会を母体とし、薬物療法を受けた症候性骨髄腫患者さんの3年生存割合を評価するとともに、集積されたデータの解析により、実際の診療でしばしば問題となるクリニカルクエスチョンを解決するエビデンス（根拠）を獲得することを目的としています。本研究に参加されることによる追加の医療行為、治療上の制約（介入）は生じません。全国の施設で登録期間として3年間、目標症例数1,100例を予定しており、各患者さんのデータは個人情報の匿名化を行ったうえで、特定非営利活動法人臨床研究支援機構（OSCR）に委託したデータセンターに蓄積し、解析を行ったうえで、学会、論文等で公表を行います。
研究対象： 2016年1月以降、当院で骨髄腫関連疾患（MGUS、無症候性骨髄腫、症候性骨髄腫、非分泌型骨髄腫、骨孤立性形質細胞腫、形質細胞白血病）のうちいずれかを新規に診断された患者さんが対象となります。
研究責任者： （附属病院） 所属：血液リウマチ感染症内科 氏名：松本 憲二
研究実施期間： 2016年9月15日 ～ 2022年3月31日
連絡先： ・患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡下さい。 拒否された場合、患者さんにとって不利益になることは一切ございません。また、この研究のために患者さんの負担や危険が増えることはございません。 横浜市立大学（附属病院） 所属：血液リウマチ感染症内科 氏名：松本 憲二 〒：236-0004 住所：横浜市金沢区福浦3-9 電話：045-787-2800

